

令和4年1月13日

都内私立中学高等学校
校 長
技術・家庭科担当教諭 殿
関 係 教 職 員

一般財団法人東京私立中学高等学校協会
会 長 近藤 彰郎
東京私学教育研究所長 平方 邦行
専門系教科研究会委員長 西村 弘子
(共催：公益財団法人東京都私学財団)

専門系教科研究会（技術・家庭、家庭）「ワークショップ」のご案内 持続可能な消費生活・環境の指導 ～プラスチックごみを題材にして～

新春の候 先生方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、新学習指導要領では、持続可能な社会の構築の重要性が強く打ち出されており、家庭科においても、グローバルな視点に立って生活の現状をみつめ、環境に配慮したよりよい生活を工夫し、実践していく態度の育成が求められているところです。実生活では、レジ袋が有料化され、マイバッグやマイボトルを使用する人が増加しているものの、さまざまな環境問題を抜本的に解決し、持続可能な社会を実現していくためには、「消費生活・環境」領域において、教材、授業展開を含めた更なる取組が必要となります。そこで今回、当研究会では、認定NPO法人開発教育協会（DEAR）のご協力の下、標題のワークショップを開催することといたしました。先生方ご自身が体験を通して学ぶことによって、中高それぞれで扱う内容と指導方法を段階的に発展させる工夫も増えていくものと期待しております。

ご多用の折ではありますが、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

記

1. 日 時 令和4年2月26日（土）14：00～16：00（受付開始13：30）
2. 会 場 アルカディア市ヶ谷（私学会館）会議室 千代田区九段北 4-2-25 ※裏面案内図をご参照ください。
3. テーマ 持続可能な消費生活・環境の指導 ～プラスチックごみを題材にして～
4. 講 師 認定NPO法人開発教育協会（DEAR） 事業主任 八木 亜紀子 氏

【講師プロフィール】

静岡県出身。大学時代に国際ワークキャンプに参加したことをきっかけに、ボランティアや市民活動の世界へ。国際協力 NGO や中間支援組織を経て、2007年より DEAR の職員となる。広報や教材作成、ワークショップのファシリテーターなどを務めている。2017年度よりアジア太平洋資料センター（PARC）理事。



5. 定 員 25名（申し込み順 ⇒ 定員になり次第締め切ります）

6. 参加費 無 料 (当協会会員各校の拠出金と(公財)東京都私学財団からの補助金で運営しております)

7. 申込方法 2月18日(金)までに東京私学教育研究所HPよりお申込みください。

URL <https://k.tokyoshigaku.com>



新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点や災害等の事由から、実施方法(オンライン研修を含む)・プログラムの変更や中止(延期)となる場合があります。その際には web 申込時にご入力いただいたメールアドレスへ迅速にご案内させていただきます。

東京私学教育研究所 専門系教科研究会(技術・家庭、家庭)

担当: 松田・山本

TEL 03-3263-0544

《案内図》



■ 交通のご案内

- 地下鉄 有楽町線・南北線
市ヶ谷駅(1またはA1)出口
- 地下鉄 新宿線
市ヶ谷駅(A4またはA1)出口
- JR 中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅
上記改札・出口から徒歩約2分



ご案内

下記の研修会も現在、参加受付中です。

詳しくは研究所ホームページをご確認ください。

研究会・研修会	テーマ・内容	日時	会場
研究協力学校(啓明学園中学校高等学校)「中間発表会」	「探究学習×教科横断」-探究学習を教科横断で実施するための方法論の開発-	2/14(月) 9:00~11:40	啓明学園中学校 高等学校
進路指導/生き方教育研究会「研修会」	生徒が主体的に自分の生き方について考えるキャリア教育を目指して	2/15(火) 18:00~20:00	アルカディア市ヶ谷 (私学会館)
情報・メディア教育研究会「研修会」	VR/ARを用いた教育実践報告とVR/ARハンズオン	2/18(金) 18:00~20:00	アルカディア市ヶ谷 (私学会館)
理数系教科研究会(理科・生物)「講演会」	ウミガメ類のパーソナリティ研究と適材適所を目指した保全	2/19(土) 15:00~17:00	アルカディア市ヶ谷 (私学会館)
芸術体育系教科研究会(書道)「見学研修会」	趙孟頫の書における王羲之の影響	2/19(土) 14:00~16:00	アルカディア市ヶ谷 (私学会館)
「私学教員のための組織マネジメント研修」	教育目標をいかに現場で実現させるか	3/28(月)~ 29日(火)	ミナカ小田原